

認定事例：木質ガス（間伐材） 兵庫県朝来市生野町

- 朝来市は森林資源の豊富な地域であり、未利用木材の有効活用が課題となっていた。
- 同市内において、森林資源の有効活用と熱利用も含めたエネルギーの地産地消を目的に、生野銀山バイオマス（株）が間伐材を原料とした木質ガスの製造・発電を計画。
- 同市生野町および周辺のエネ業者が原料供給体制を整備し、原料確保から燃料化、発電、副産物販売までを一体化した地域連携体制を構築。

計画

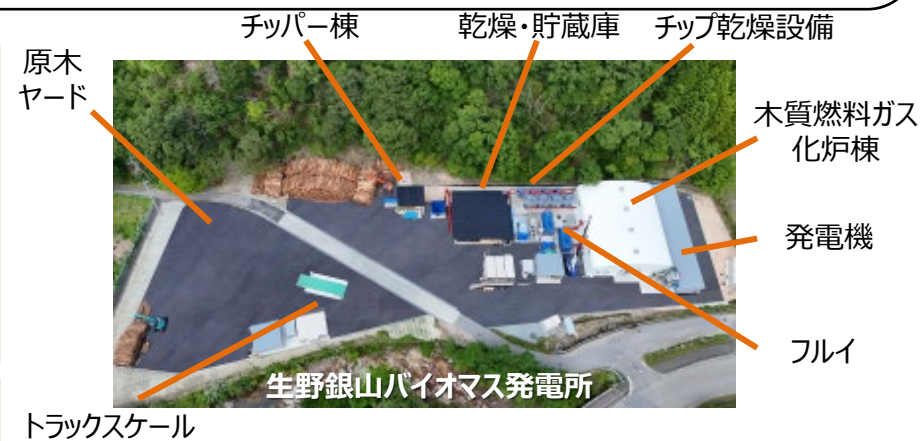
- 原料供給量：11,900～16,300 t/年（間伐材）
- 燃料製造量：13,160,000 m³/年（木質ガス）
- 発電量：7,366,000 kWh/年
- 副産物製造量：乾燥チップ 377 t/年、バイオ炭 150 t/年

効果

- 未利用木材の活用拡大により地域林業の収入の安定化を促進
- 地域の未利用資源を活用し、エネルギーの地産地消や熱供給事業による雇用の創出に寄与
- 副産物を土壌改良材等として地域農家へ提供することにより、循環型農林業の実現に貢献

利用した支援制度

- 固定資産税の減免：1/2に減免 * 3年間



流れ

